

## 韓国語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
37H1012	基礎韓国語A1	2	1.0	1	春ABC	月3	2B208, 2B209	金 仁和	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・工シス・総学1対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37H2012	基礎韓国語A1	2	1.0	1	春ABC	月4	2B208, 2B209	金 仁和	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として比文・日・日・社工・体育1・総学2対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37H5012	基礎韓国語A1	2	1.0	1	春ABC	火4	CA305	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37H6012	基礎韓国語A1	2	1.0	1	春ABC	火3	CA305	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報・総学6対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37J1012	基礎韓国語B1	2	1.0	1	春ABC	水2	CA305	森 勇俊	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として人文・応理・工シス・総学1対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37J2012	基礎韓国語B1	2	1.0	1	春ABC	水1	CA305	森 勇俊	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として比文・日・日・社工・体育1・総学2対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37J5012	基礎韓国語B1	2	1.0	1	春ABC	金1	CA302	申 貞恩	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37J6012	基礎韓国語B1	2	1.0	1	春ABC	金2	CA302	申 貞恩	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37K1012	基礎韓国語A1I	2	1.0	1	秋ABC	月3	2G205	金 仁和	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・工シス・総学1対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37K2012	基礎韓国語A1I	2	1.0	1	秋ABC	月4	2G205	金 仁和	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として比文・日・日・社工・体育1・総学2対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37K5012	基礎韓国語A1I	2	1.0	1	秋ABC	火4	CA307	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37K6012	基礎韓国語A1I	2	1.0	1	秋ABC	火3	CA307	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報・総学6対象。日本語で授業を行う。G科目。対面
37L1012	基礎韓国語B1I	2	1.0	1	秋ABC	水2	1B308	森 勇俊	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として人文・応理・工シス・総学1対象。「基礎韓国語B1I」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。G科目。対面
37L2012	基礎韓国語B1I	2	1.0	1	秋ABC	水1	1B308	森 勇俊	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として比文・日・日・社工・体育1・総学2対象。「基礎韓国語B1I」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。G科目。対面

37L5012	基礎韓国語B1I	2	1.0	1	秋ABC	金1	CA302	申 貞恩	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。「基礎韓国語B1I」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目。対面
37L6012	基礎韓国語B1I	2	1.0	1	秋ABC	金2	CA302	申 貞恩	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。「基礎韓国語B1I」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目。対面

韓国語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3751612	韓国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春ABC	火5	1C405	金 仁和	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語B1」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指す。	全学群対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目。対面
3751622	韓国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春ABC	水1	1B303	申 貞恩	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語B1」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象。「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目。対面
3754612	韓国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋ABC	火5	1C405	金 仁和	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語B1」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指す。	選択・自由科目。全学群対象。原則として、「韓国語圏の言語と文化A」の履修者に限る。日本語で授業を行う。 G科目。対面
3754622	韓国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋ABC	水1	CA407	申 貞恩	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語B1」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。全学群対象。「韓国語圏の言語と文化A」の履修者に限る。日本語で授業を行う。 G科目。対面

韓国語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3760012	応用韓国語講読A	2	1.0	2 - 4	春ABC	火4	1C405	金 仁和	韓国語基礎で習った基本文型・会話を発展させる。様々な文体と内容の文章の講読と作文ドリルを行う。	全学群対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。 G科目。対面
3761012	応用韓国語会話A	2	1.0	2 - 4	春ABC	水2	1B303	申 貞恩	映像・音声資料を通して、聴解力と会話能力を高める。	全学群対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。 G科目。対面
3765012	応用韓国語講読B	2	1.0	2 - 4	秋ABC	火4	1C405	金 仁和	韓国語基礎で習った基本文型・会話を発展させる。様々な文体と内容の文章の講読と作文ドリルを行う。	全学群対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。 G科目。対面
3766012	応用韓国語会話B	2	1.0	2 - 4	秋ABC	水2	CA407	申 貞恩	映像・音声資料を通して、聴解力と会話能力を高める。	全学群対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。 G科目。対面
3762012	応用韓国語作文A	2	1.0	2 - 4	春ABC	水3	CA302	申 貞恩	的確な語彙選定等を身につけて、正しく美しい字でより韓国語らしい表現を用いて分かりやすい文章が書けるようになることを目指す。	全学群対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。 G科目。対面

3767012	応用韓国語作文B	2	1.0	2 - 4	秋ABC	水3	共同利 用棟 A103	申 貞恩	韓国語の文型や語彙などの既習知識を活用し、よ り整合性のある文章が書けるようになることを目 指す。	全学群対象。原則とし て、「基礎韓国語」A 及びBの履修者に限 る。主に韓国語で授業 を行う。 G科目. 対面
---------	----------	---	-----	-------	------	----	-------------------	------	---	--